

中国語と日本語の接続表現

——条件表現を表す『たら』——

小川 泰生

0. はじめに

中国語の特色のひとつとして、関連詞を用いない接続表現があげられ、日本語の特色のひとつとして、条件表現が豊かなことがあげられる。これまで、「日本語と中国語の接続表現」（『藤原尚教授広島大学退官記念中国語学中国文学論集』1997年）で、中国語と日本語の接続表現について取り上げ、「日本語と中国語の接続表現—仮定条件を表す『なら』」（『岡村貞雄博士退休記念中国学論集』1999年）で、仮定条件を表す「なら」をとりあげたが、本稿では条件を表す「たら」をとりあげて、それがどう中国語訳されているのかを見ていきたい。使用する資料は、川端康成著『雪国』、侍桁译《雪国》、叶渭渠译《雪国》、尚永清译《雪国》、高慧勤译《雪国》、老舍著《骆驼祥子》、立間祥介訳『駱駝の祥子』である。

「たら」の用法については、益岡隆志他（2002）で、1 仮定条件の用法、1-1 現実化以前の事態を表すもの、1-2 仮定的事態を表すもの、1-3 反事実的条件を表すもの、2 既然の事態を表す事実的用法に分けている。本稿では、この分類に従って見ていくこととする。

なお、「たら」は完了の意味合いが強いので、中国語訳でも前件に“了”や結果補語が多用されるが、本稿では深く立ち入らない。

1. 仮定条件の用法

1-1. 現実化以前の事態を表すもの

『雪国』で「たら」がどう訳されているのかを見てみよう。

1. 「あんたが行ったら、私は真面目に暮すの」（雪152）

“你要是去了的话，我要规规矩矩地生活了。”（雪①111）

“你走后，我要正经过日子了。”（雪②135）

“你走了，我就规规矩矩地过日子了。”（雪③276）

“你走了，我要正正经经地过日子了。”（雪④110）

“你走了以后，我会规规矩矩过日子的。”（雪⑤147）

雪①は“要是～的话”，雪②は“后”，雪③は“就”，雪⑤は“以后”を用い

ている。雪④は何も関連詞を用いていない。雪①、雪③、雪④、雪⑤共に、“了”を用いている。

2. 駒子に会ったら、頭から徒労だと叩きつけてやろうと考えると、またしても島村にはなにかかえって彼女の存在が純粹に感じられてくるのだった。(雪55)

他想如果再碰到驹子的话,他就给她个冷水浇头告诉她这是徒劳的,可是在岛村心里却又一次反而感觉到她的存在是纯洁的。(雪①38)

島村心想:要是见到驹子,就劈头给她一句“徒劳”。然而,对岛村来说,恰恰相反,他总觉得她的存在非常纯真。(雪②66)

他想一见到驹子就把“徒劳”二字拽给她。可是不知为什么,岛村又一次反而觉得她的为入是多么天真了。(雪③209)

島村还想:等见到驹子非兜头再给她一句不可,告诉她这“纯属徒劳”。不过,由此也更感到驹子的为入,依然还保持她单纯真率的本色。(雪④39)

“島村心想,碰到驹子时在再劈头说上一句徒劳吧!同时,他又感到她的存在非常纯真。”(雪⑤49)

雪①では、“如果~的话,~就”が,雪②では、“要是~就”が,雪③では、“一~就”が,雪④では“等~再”が関連詞として用いられている。雪①、雪⑤では,結果補語の“碰到”が,雪②,雪③,雪④では,結果補語の“见到”が用いられている。

次に中国語の小説を日本語に訳したものではどうなっているのかを,老舎の《骆驼祥子》の日本語訳(『骆驼の祥子』立間祥介訳 岩波文庫)を資料として調べてみたい。立間氏が「たら」と訳されている箇所を中国語の原文と比べてみた。

3. 「目鼻がいたら迎えにくるからな。きっと」(祥①323)

“等我混好了,我来!一定来!”(祥182)

“等~了”が用いられている。

4. 「あんたもお食べ。すんだら洗つといてよ」(祥①334)

“你吃吧。吃完可得把家伙刷出来。”(祥189)

関連詞は用いられていない。

5. 「あたしや,よくなったら,なんでもおまえさんの言うことをきくよ。

さ,はやく!」(祥①311)

“等我好了,我乖乖的跟你过日子!快去吧!”(祥174)

“等~了”が用いられている。

以上,現実化以前の事態を表す「たら」について見てきた。前件はこれから先の時点で実現することがわかっている個別事態を表している。この場合

は“如果～就”，“要是～就”，“如果～就”等の関連詞は用いられない。1.雪①で，“要是～的话”が用いられているが、ニュアンスが異なる。行くかどうかわからなければ“要是～的话”を用いてよいが、この場合島村は行くことが予想されているのだから，“要是～的话”を用いない方がよい。同様に2でも雪①は“如果～的话，～就”が、雪②は“要是～就”が用いられているが、会うことが予想されていない場合には，“要是～就”等の関連詞を用いてよいが、この場合予想されているのだから用いないほうがよい。

3や5で“要是～就”でなく，“等～了”が用いられていることに注目すべきである。3では、目鼻がつくことを予想しているのであり、5では虎妞はよくなると予想しているのである。

徐一平（2001）でも、現実化以前の事態を表すものものは“要是～就”等の仮定条件を表す関連詞を用いていない。²⁾ “～了～以后”，“～以后”等で訳されている。

6. (A あちらで野田さんに会われますか。)

(B ええ、その予定ですが。)

A じゃ、お会いになったらよろしくお伝え下さい。

那，您见到他请带我向他问好。(274)

7. 会議が●●●●終わったら、食事をしに行きましょう。

开完会以后咱们去吃饭吧。(274)

8. この●●●●仕事●●●●が完成●●●●したら、長い休みをとるつもりだ。

完成了这项工作以后，我打算长期休息一段。(273)

9. ●●●●結婚●●●●したら仕事はやめるの。

结婚以后你辞职吗？(275)

(うん、しばらく続けるつもりよ。)

10. 大学を●●●●卒業●●●●したらどうするつもりですか。

大学毕业以后你准备干什么？(275)

(オーストラリアに留学したいと思っています。)

11. ●●●●宿題●●●●が●●●●済んだら●●●●遊び●●●●に行ってもいいよ。

作完毕业以后就可以去玩儿。(274)³⁾

現実化以前の事態を表す「たら」は“等～了”，“～了～以后”，“～以后”，“～后”，“～了～就”，“～了”等で訳される。

1-2. 仮定的事態を表すもの

12. 「そういうことがもしあったら、明日はもう君の顔をみるのもいやにな

るかもしれん。」(雪21)

“果真有那样的关系，也许明天再不愿意看到你的面孔了”(雪①12)

“要是发生那种事，明天也许就不想再见到你了。”(雪②42)

“如果有了那事，说不定明天我就不想再见到你了。”(雪③185)

“要是有了那种事，说不定赶明儿连你的面都不愿意见了。”(雪④14)

“如果有了那样的事，也许明天就不愿意见到你，～”(雪⑤15)

雪①は“果真”，雪②は“要是～就”，雪③，雪⑤は“如果～就”，雪④は“要是”が用いられている。また，雪①，雪③，雪④，雪⑤はともに，“了”が用いられている。

13. 「君が家を持ったら，亭主は叱られ通しだね」(雪58)

“你要是有个家，老公一定常常挨你的骂。”(雪①41)

“你要是成了家，你丈夫准会老挨你骂。”(雪②69-10)

“你要是嫁了人，丈夫得老挨你的叱儿。”(雪③212)

“你要是成了家，你丈夫准得成天挨骂。”(雪④42)

“你要是结了婚，做你丈夫的就得整天挨骂了。”(雪⑤53)

雪①，雪②，雪③，雪④は“要是”が，雪⑤は“要是～就”が用いられている。また雪②，雪③，雪④，雪⑤はともに，“了”を用いている。

14. 「こう言っているうちにも，息が絶えたらどうする。」(雪75)

“在我们这样谈话的时候，他如果断了气，那可怎么好。”(雪①54)

“说不定在我们说话之间，他就断气了。那怎么办呢？”(雪②81)

“我们说话之间，他要是断了气怎么办？”(雪③224)

“话说之间，万一他断了气怎么办？”(雪④54)

“我们在这里谈话时，他断了气怎么办呢？”(雪⑤70)

雪①では“如果～那”，雪②では“那”，雪③では“要是”，雪④では“万一”が用いられているが，雪⑤では何も関連詞が用いられていない。雪①，雪②，雪③，雪④，雪⑤共に，“了”が用いられている。

15. 「君が家を持ったら苦劳だね」(雪89)

“你要是成了家可够辛苦的”(雪①65)

“你如果成了家，恐怕得成天操心罗”(雪②92)口加罗

“你要是成了家可就够你操劳的了”(雪③234)

“你要是成了家，准是劳碌命。”(雪④65)

“你如果成了，就真够你劳累的。”(雪⑤85)

雪①，雪④は“要是”，雪②は“如果”，雪③は“要是～就”，雪⑤は“如果～就”が用いられている。すべて，“了”が用いられている。

16. 「ここにお座敷があったからいいようなものの，お友達が帰りにお湯へ

でも誘ってくれて、私ที่บ้านにいなかったら、あんまりだわ」(雪126)

“这儿有堂会也还说得过去，等一会儿伙伴们回来，会邀我去洗澡的，我●要是●不在家，那就太不象话了。”(①雪92)

“要是宴会在这儿举行还可以，不然朋友们回头找我去洗澡，我不在家，那就●不好●了。”(雪②117)

“还好这里还有个宴会，不然女友们回去时找我一起洗澡，而我●不在家，那●太不像话了。”(雪③259)

“这里有饭局倒还好说。等会她们回家约我去洗澡，我●若不在，就●太说不过去了。”(雪9④1)

“这里有筵席还好，回头朋友若是邀我去洗澡，而我●又不在家，就●太那个了。”(雪⑤121)

雪①は“要是～那就”，雪②は“那就”，雪③は“那”，雪④は“若～就”，雪⑤は“就”を用いている。

17. 「あんたみたいな人の手にかかったら、あの子は気がいならずにすむかもしれないわ」(雪127)

“那个姑娘●要是●落在象你这样的人手里，她或许就不会发疯了。”(雪①93)

“要是碰上象你这样的人，也许她还不至于发疯呢。”(雪②118)

“到了你这样的人手里，她也许疯不了。”(雪③259)

“要是●有你这样的人照顾她，也许还不至于疯。”(雪④92)

“如果碰到象你这样的人，她也许不致于发疯，～”(雪⑥122)

雪①，雪②，雪④は“要是”，雪⑤は“如果”を用いている。雪③は関連詞を用いていない。“了”を用いている。雪①は“落在”，雪②は“碰上”，雪⑤は“碰到”の結果補語を用いている。

18. 踊の方の縁故から能衣裳の古物などを扱う店も知っているの、筋のいい縮がでたらいつでも見せてほしいと頼んであるほど、この縮を好んで、一重の襦袢にもした。(雪136)

由舞者的介绍，他也认识了一家收购能乐衣裳的古物之类的商店，他甚至托付那家店无论什么时候如有纹路细米密的绉绸都希望拿给他看看，他爱好这种绉绸，还用它做了一件衬衣。(雪①99)

由于从事舞蹈工作的关系，他认识了经营能乐旧戏服的店铺，拜托过他们：如有质地好的绉纱，请随时拿给他看看。他喜欢这种绉纱，也用它来做贴身的单衣。(雪②124)

由于他搞日本舞蹈的关系，认识经营“能乐”服装的估衣铺，甚至托付过他们有了正宗的绉纱就送给他看。他如此喜欢绉纱，也曾用它做过汗衫穿。

(雪③265)

因舞蹈方面的关系，他认识经营古典戏装的旧货店，甚至拖他们，但凡有什么货色好的，便留给他看看。他喜欢这种麻绉，有时也做成贴身的单衣。(雪④98)

“因舞蹈上的关系，他认识了买卖能乐衣裳的旧货店，於是托付他们有了好货色便随时拿来给他看。由此可见，他很喜欢这种绉布，并用它做贴身单衣。(雪⑤131)

雪①，雪②は“如”，雪③は“就”，雪④，雪⑤は“便”が用いられている。
雪③，雪⑤では“了”が用いられている。

19. 「あんたのこともなんか考えて歩いていたら，電線に首をひっかけて怪我するわ」(雪71)

“要是走路时想到你什么的，电线会勾住脖子叫人受伤。”(雪①51)

“若是我一边走一边想你什么的，没准会把头碰在电线杆上受伤呢。”

(雪②79)

“要是是一边儿想着你一边儿走路，就会让电线把脖子刚破的。”(雪③222)

“走路时，要是想着你什么的，脖子会碰到电线给刚破。”(雪④51)

“到那时，我如果一边想着你一边走路，恐怕会因为脖子挂到了电线上而受伤哩。”(雪⑤66)

雪①，雪④は“要是”，雪②は“若是”，雪③は“要是～就”，雪⑤は“如果”が用いられている。

20. 「奥さんがご心配のようでしたら，ひとつ連れてきて，見てもれえやす」
(祥①357)

“太太要不放心，我把她带来，教太太看看。”(祥203)

“要”が用いられている。

21. わしたちの仲間の娘やかみさんが急に顔を見せなくなったら，淫売窟に身を沈めたと思ってまずまちがないもんだ。(祥①366)

咱们拉车人的姑娘媳妇要是忽然不见了，总有七八成也是上那儿去。

(祥208)

“要是”が用いられている。

22. 運わるく冬がきてしまい，おれがまだ生きていたら，それはそのときのことだ，と。(祥①372)

不幸，到了冬天，自己还活着，那就再说吧。(祥212)

“那就”が用いられている。

23. で，もし妾でも入れたら，分けまえをよこせとねじこんでもよかったし，
～(祥①268-6)

假若老头子直娶上个小老婆，虎妞会去争财，(祥148)

“假若”が用いられている。

24. あいつを女房にしたら、おれはおしまいだ。(祥①149)

要了她,便没了他, ~(祥83)

“便”が用いられている。“了”が用いられている。

25. 気に入ったら着物の一枚もこしらえてやるか、一円かそこらやっておけばいいし、また、気に入らなければ～(祥①278)

高兴呢,给她裁件花布大衫,块儿多钱的事.不高兴呢, ~(祥154)

“呢”が用いられている。

26. 「おめえ、ほんとうに弟がかわいかったら、自分で稼いで食わせてやったらいいじゃねえか」(祥①282)

“你要真心疼你的兄弟,你就有法儿挣钱养活他们!”(祥157)

“要～就”が用いられている。

27. そんな金を、もしも素面で見たら、彼だって恥ずかしくて生きては入れなくなるからだ。(祥①287)

~,因为他要是清醒着看见它们,他就会去跳河或上吊。(祥160)

“要是～就”が用いられている。

28. ～、稼ぎがすくなかったら明け方までつづけてもよかろう、(祥①288)

假若挣不上钱的话,他可以一直拉到天亮:(祥160)

“假若～的话”が用いられている。

29. 祥子にぐずぐずしていられて、もし小福子が客をつれてきたりしたらたいへんだったからだ。(祥①288)

~,怕他在家里碍事,万一小福子拉来个客人呢。(祥160)

“万一”が用いられている。

30. 「おまえさん、こんなところにいたらそれこそたいへんだよ」(祥①288)

“你当在家里就好受哪?”(祥160)

“就”が用いられている。

31. この日盛りにひと稼ぎしてみても、それでなんともなかったら、このからだですこしもまいていないという証拠になるじゃないか。(祥①292)

他不管太阳下是怎样的热了;假若拉完一趟而并不怎样呢,那就证明自己的身子并没坏;(祥163)

“假若～呢,那就”が用いられている。

32. してまた途中でへばってしまうようだったら、もはやいうことはない、～(祥①292)

设若拉不下来这个买卖呢,那还有什么可说的, ~(祥163)

“设若～呢,那”が用いられている。

33. ～, 足をとめたらとたんにかたがた震えだしてしまうことは目に見えている。(祥①295-h7)

他知道一站住就会哆嗦成一团。(祥165)

“一～就”が用いられている。

34. 大人たちが病気になったら, それどころではすまない。(祥①298)

大人们病了, 就更了不得。(祥166)

“就”が用いられている。“了”も用いられている。

35. この病気が長びくようなことになったら, いったいどうしたらいいのだ。

(祥①300)

假如病老不好, 该怎么办呢?(祥168)

“假如”が用いられている。

36. こんどまたからだをこわしたりしたら川に身を投げてやる。そう心に誓った。(祥①303)

这回要是再病了, 他起了誓, 他就去跳河!(祥169)

“要是～就”が用いられている。

37. 後妻をもらおうとしたら, 彼女こそ理想の相手だったが, 祥子にはいまず
ぐ再婚する気はまったくなかった。(祥①318)

假若祥子想再娶, 她是个理想的人。他并不想马上就续娶, ～(祥179)

“假若”が用いられている。

以上, 仮定的事態を表すものを見てきたが, “要是～就”, “如果～就”, “要是”, “假若～那就”, “要是～就”, “假若”等, 仮定条件を表す関連詞が用いられる。

徐一平(2001)でも, 仮定的事態を表すものは“要是～就”等の仮定条件を表す関連詞を用いている。

38. 万一雨が降ったら試合は中止です。

万一下雨的话就停止比赛。(273)

39. もしも、遅れたら連絡してください。

如果要是晚了的话, 请跟我联系。(274)

40. 暇があつたら海外旅行をしたい。

有时间的话我想去国外旅行。(274)

41. 暑かっつたら窓を開けてください。

你要是热的话就打开窗户。(274)

しかし, 例外もある。

42. 「三味線はほんの少しうろ覚えですもの, 忘れたらもう浚ってくれる人

もなし、音譜が頼りですわ」(雪62)

“三弦琴，真正记得很少很少，一忘记，就再找不到人给你复习了，只好靠乐谱。”(雪①44)

“三弦琴只模模糊糊记得一点儿，忘了也没人给指点，就靠乐谱啦。”

(雪②72)

“三弦我不过是马马虎虎会一点儿，忘了就没人辅导了，只能靠乐谱。”

(雪③215)

“三弦只学了点皮毛。忘了也没人指点，只好靠曲谱了。”(雪④45)

“三弦只记住了点皮毛知识，忘了也没人给你指点，只有靠乐谱了。”

(雪⑥57)

雪①，雪③は関連詞“就”を用いているが，雪②，雪④，雪⑤は関連詞“也”を用いて，「忘れても」と訳している。また，雪①では，“一～就”が用いられている。

43. 「おれさまをおこらせたら，ただじゃおかねえぞ！」(祥①320)

“招翻了太爷，妈的弄刀全宰了你们！”(祥180)

関連詞はない。“了”が用いられている。

44. さすがは祥子で，彼がとばしたらかなう者はない。(祥①350)

祥子到底是祥子，祥子拼命跑，还是没有别人的份儿。(祥199)

関連詞は用いられていない。意合法である。

45. ところが，いったん子供にでもつかまって糸でくられちまったら，もう飛ぶこともできなくなっちゃうじゃないか。(祥①364)

～，可是教个小孩子逮住，用线儿拴上，连飞也飞不起来。(祥207)

関連詞は用いられていない。意合法である。

46. それでも客があったら引くつもりだった。(祥①289)

可是，见了座儿，他还想拉，～(祥161)

関連詞はなく，意合法である。“了”が用いられている。

1-3. 反事实的条件を表すもの

47. 「二人ともその港町にいたら，今頃は一緒になっていたかもしれないね」

(雪61)

“两个人如果都在港口的街市上现在也许就合在一道了。”(雪①43)

“你们两个人要是是在那个港市呆下去，也许现在就在一起生活了吧。”

(雪②70)

“要是两个人都在那个码头上，说不定现在已是夫妻了。”(雪③214)

“要是你们两人都住在港口小镇上，说不定现在已经成家了。”(雪④43)

“如果两人都一直同住在那个港口，也许现在早已成一对了。”（雪⑤55）
 雪①は“如果～就”，雪②は“要是～就”，雪③雪④は“要是”，雪⑤は“如果”が用いられている。

48. ところが葉子が湯殿で歌っていた歌を聞いて、この娘も昔生まれていたら、糸車や機にかかって、あんな風に歌ったのかもしれないと、ふと思われた。（雪138）

可是听到叶子在浴池里唱过的歌，忽然想起这个姑娘如果生在古老的时候，她坐在防线车或织机的前面也会这样歌唱吧，～（雪①101）

然而，岛村听了叶子在浴池放声歌唱，忽然想到：这个姑娘若生在那个时代，恐怕也会守在纺纱车或织布机旁这样放声歌唱的吧。（雪②125）

可是当他听到叶子在浴池里唱的歌时，他觉得这个姑娘如果生在古时，一定会在纱车上或者织机上也那么唱歌的。（雪③267）

然而，在澡塘里听见叶子的歌声，岛村忽然想到，倘若这姑娘生在古时，准是在纺车和织机旁也这么歌唱的。（雪④100）

可是，他听见叶子在澡池里唱歌时，却突然想到，如果她生在从前的时代，也许会坐在纺车或织布机旁那样唱着歌的吧。（雪⑤133）

雪①，雪③，雪⑤は“如果”，雪②は“若”，雪④は“倘若”が用いられている。

49. あれが明るい時だったら、ぜったいに逃げられやしなかったところだけど、（祥①369）

要不是天黑了，要命她也逃不出去。（祥211）

“要不是”が用いられている。

50. 小福子が男だったら、まちがってもこんな恥さらしはせず に済んだものを、～（祥①287）

～，假若小福子是个男的，管保不用这样出丑出丑；（祥160）

“假若”が用いられている。

反事实的条件を表すもの場合は“如果～就”，“要是～就”，“要是”，“如果”，“若”，“倘若”，“要不是”，“假若”等の関連詞が用いられる。

徐一平（2001）でも、

51. あのとき精密検査を受けていたら、手遅れにならなかつたらう。

如果当时做了进一步详细的检查，也可能还来得及治疗。（276）

52. 隕石が地球に衝突していなかったら恐竜は絶滅していなかったかもしれない。

要不是陨石撞击了地球，也许恐龙还不会灭绝呢。（276）

53. あの時彼と結婚していたら、私の人生はもっと幸せだったはずだ。

当时要是和他结了婚、我的人生一定会更加幸福。(276)
 “如果”，“要不是”，“要是”等の関連詞を用いて訳されている。

2. 既然の事態を表す事実的用法

54. 「さっきお部屋へ戻って見たら、もういらっしやらないでしょう」

(雪28)

“刚才我回到你的房间里去，你已经不在了。”(雪①18)

“方才我折回房间，看见您已经不在，～”(雪②47)

“刚才回到你的房间，你不在。”(雪③190)

“方才我回房间一看，你不在。”(雪④19)

“刚才我回房里一看，你们已经出去了。”(雪⑤22)

「発見」の用法である。雪④、雪⑤では“一看”を用いている。雪①、雪③では、結果補語“回到”を用いている。後件は過去なので、雪①、雪②、雪⑤で“已经”が用いられている。

55. 「ねえ、帰れないわ。女中さんが火を入れに来て、みっともない、驚いて飛び起きたら、もう障子に日があたってるんですもの。(雪)

“唉，我回不去啦。女佣人送来了火，看着真不像话，我一惊跳了起来，太阳已经照到拉窗上。”(雪①41)

“哦，我回不去啦。女佣来添过火了，多难为情呀。吓得我赶紧起来，太阳都已经晒到纸拉门上了。”(雪②68)

“喂，我回不去了。刚才女服务员来送火，多么不雅观，吓得我跳起来一看，太阳已经照在窗纸上了。”(雪③212)

“嗷，回不去了呢。方才女佣送火进来，真难为情。吓得我赶紧起来，太阳都已经照到纸门上来了。”(雪④41)

“呃，回不去了哪。女侍送火来，让她看到这个样子真不好意思，所以我吓得赶紧起来，只见阳光已照到纸门上了。”(雪⑤52)

既定条件を表す。雪③で“一看”，雪①で“一”が用いられている。他は何も用いられていない。雪①、雪②、雪③、雪④ではともに“已经”が用いられている。

56. 「聞いたら聞いたで、なぜ昨日そう言わなかったの」(雪59)

“你既然已经听到了，可为什么昨天晚上不讲呢？”(雪①42)

“～，听到就是听到嘛，为什么昨天不说呢？”(雪②70-5)

“听说了就听说了，为什么昨儿晚上没告诉我？”(雪③213)

“听就听说了呗，昨天怎么没说呢？”(雪④42)

“～，既然听到了，昨天为什么不说呢？”(雪⑤54)

これは既定条件である。雪①、雪⑤は“既然”，雪②は“就是”，雪③、雪④は“就”を用いている。雪①、雪②、雪⑤は結果補語の“听到”を用いている。また雪①、雪③、雪⑤は“了”を用いている。

57. 「こんな静かなところで、裁縫してたら」～「駒ちゃんいつ来たって、女中さんが変な顔してたわ」(雪102)

“在这么安静的地方，要是做做衣服多好。”～“驹姐，你什么时候来的呀，女佣人露出了怪脸色问我。”(雪①74)

“在这样清静得地方做针线活儿多好啊。”～“如果女佣带着惊异的神色问我：驹姐，你什么时候来的？”(雪②100)

“在这样闲静的地方做点针线活儿才好呢。”～“服务员感到奇怪地问我，说驹姐你什么时候来的？”(雪③242)

“这么清静的地方，做做针线才好呢？”～“方才女佣人挺奇怪的样子，问我，‘驹姑娘，什么时候来的？’”(雪④74)

“这么宁静的地方，做针线活多好。”～“刚才女侍奇怪地问呢，说驹子什么时候来的。”(雪⑤97)

すべて誤訳なので、参考にならない。「こんな静かなところで、裁縫してたら」のあとに「どんなにいいだろうか」が省略されていると考えて訳しているが、実際は「駒ちゃんいつ来たって、女中さんが変な顔してたわ」に続いていく。

58. 「来ると言ったら、きたでしょ。ねえ、来ると言ったらきたでしょ」
(雪109)

“我说来我就准定来的。你瞧，我说来我就来了吧。”(雪①79)

“我说过要来，不就来了吗。说过要来就来了嘛。”(雪②105)

“我说来就来了吧。是不是，说来就来了吧。”(雪③247)

“我说来，就来了不是。你看，我说来，就来了不是？”(雪④79)

“我说过一定会来的，嗯，我说过了一定会来的。(雪⑤104)

雪①、雪②、雪③、雪④は“就”が用いられている。雪⑤は意識している。

59. 「ねえ、来ると言ったらきたでしょ」(雪109)

“你瞧，我说来我就来了吧。”(雪①79)

“嗯，我说过要来就来了嘛。”(雪②105)

“是不是，说来就来了吧。”(雪③247)

“你看，我说来，就来了不是？”(雪④79)

“呃，我说过了一定会来的。”(雪⑤104)

雪①、雪②、雪③、雪④は“就”が用いられている。

60. 「来ると言ったらきたでしょ」(雪110)

“我说来我就来了。”(雪①80)

“我说过要●来就来了嘛。”（雪②106）

“我说来就来了吧。”（雪③248）

“我说来，就来了不是？”（雪④79）

“我说过要●来就一定●会来的。”（雪⑤104）

雪①，雪②，雪③，雪④，雪⑤はともに“就”が用いられている。

61. 「昨夜帰ったら、お湯が沸いてないの。お勝手をごそごそやって、朝の味噌汁の残りを掛けて、梅干で食べたのよ」(114)

“昨天晚上回到家，没有开水，我在厨房里胡乱找出了早晨剩下的酱汤泡饭，拿腌梅子当菜吃了。”（雪①83）

“昨晚回来，没烧热水。在厨房叽哩哇啦地摸了半天，用早餐剩下的黄酱汤泡了一碗饭，就着咸梅吃。”（雪②109）

“昨儿晚上回家时，家里没有开水。在厨房摸索些剩饭浇上早晨剩的酱汤，就着腌的酸梅吃的。”（雪③251）

“昨天回去没有开水，就在厨房里凑合着把早晨吃剩的酱汤浇在饭上，就着咸梅子吃的。”（雪④83）

“昨晚回去没有开水，在厨房里嘎吱嘎吱折腾半天，才将早上剩下的豆浆浇在饭上，就着腌梅子吃下。”（雪⑤109）

既定条件を表す。雪③が“时”を用いているが、その他は何も用いていない。

62. 「目が覚めてみたら十時半，七時に起きて来ようと思ってたのに駄目になったわ」(雪114)

“一睁●开●眼已经十点半，本来想七点钟起床就来的，可是没办法。”

（雪①83）

“～，醒●来●一●看，已是十点半。本来是想七点起来的，却起不来了。”

（雪②109）

“～，一●睁●眼●已●是●十●半●了。本想七点钟起来，办不到了。”（雪③251）

“醒●来●一●看，已经十点半了。本来想七点钟起来，结果也没起成。”（雪④83）

“～，醒●来●时●已●十●半，原想七点钟起来的，可是偏偏起不来。”（雪⑤109）

既定条件である。雪①，雪③は“一”，雪②，雪④は“一看”，雪⑤は“时”を用いている。後件にはすべて“已经”または“已”が用いられている。

徐一平（2001）でも，“一看”，“～了～就”を用いたり，意合法を用いたりと同様である。訳し方の問題もあるが，62や63のような「発見」の場合，“一看”，“～了”を用いる。62は主語の問題もからむが，“到了机场、我看到我的朋友来接我来了。”としてもよい。63は“出了隧道一看、眼前是一片银白色的

世界。”としてもよい。64のような「反応」の用法の場合，“一看”は使わないで，“～了～就”を用いる。

63. 空港に着いたら友達が迎えに来ていた。

到机场一看、我的朋友来接我来了。(277)

64. トンネルを出たら一面の銀世界だった。

出了隧道、眼前是一片银白色的世界。(277)

65. 薬を飲んだら熱が下がった。

吃了药烧就退了。(278)

66. デパートで買い物をしていたら、隣の奥さんにばったり会った。

到百货公司去买东西，碰巧遇上了隔壁邻居的太太。(278)

既然の事態を表す事実的用法では，“一”，“一看”，“就”，“便”，“时”，意合法等様々に訳されている。「発見」の用法の場合，“一看”，“～了”が，「反応」の用法の場合，“～了～就”が用いられることが多い。

3. おわりに

条件表現を表す「たら」について，1 仮定条件の用法，1-1 現実化以前の事態を表すもの，1-2 仮定的事態を表すもの，1-3 反事実的条件を表すもの，2 既然の事態を表す事実的用法に分けて，どのように中国語訳されているかをみた。その結果，1-2 仮定的事態を表すもの，1-3 反事実的条件を表すもの場合は，“要是～就”，“如果～就”，“要是”，“假若～那就”，“要是～就”，“假若”等，仮定条件を表す関連詞が用いられる。それに対し，1-1 現実化以前の事態を表すものは，“等～了”，“～了～以后”，“～以后”，“～后”，“～了～就”，“～了”等で訳される。2 既然の事態を表す事実的用法では，“一”，“一看”，“就”，“便”，“时”，意合法等様々に訳されている。「発見」の用法の場合は，“一看”，“～了”，「反応」の用法の場合は，“～了～就”が用いられることが多いが，もう少し詳しい分析が必要だと思われる。

(注)

- 1) 益岡 (2002) では，1-4 時間を超えて成り立つ一般的因果関係を表すのも挙げているが『雪国』、『駱駝の祥子』，徐一平 (2001) とともに，この用法は見あたらないので，ここでは取り上げないこととする。
- 2) 徐一平 (2001) では，1，たら<仮定条件> b…たら+情感表达・祈使 …了的话、如果要是…了、…了…就…、…的话，c…たら+询问 要是…的话、…了，の項目

の中で、現実化以前の事態を表すものを仮定条件を表すものと混在させている。やはり、現実化以前の事態を表すものと仮定条件を表すものに分けて記述するほうがわかりやすいと思われる。

- 3) 傍点筆者。以下同じ。
- 4) 蓮沼昭子（1993）

例文出典と略語

1. 雪：『雪国』 川端康成 1956年 角川文庫
2. 雪①：《雪国》 川端康成著 侍桁译 1981年 上海译文出版社
3. 雪②：《雪国》 川端康成著 叶渭渠译 1998年 外国文学出版社
4. 雪③：《雪国》 川端康成著 尚永清译 1997年 商务印书馆
5. 雪④：《雪国》 川端康成著 高慧勤译 1985年 漓江出版社
6. 雪⑤：《雪国》：川端康成著 金溟若译 1994年 星光出版社
7. 祥：《骆驼祥子》 老舍著 1997年 人民文学出版社
8. 祥①：『骆驼の祥子』 老舍著 立間祥介訳 岩波書店

参考文献

1. 益岡隆志他（2002）『複文と談話』 岩波書店
2. 蓮沼昭子（1993）「たら」と「と」の事実的用法をめぐって 『日本語の条件表現』くろしお出版
3. 生田目弥寿（1982）「接続の表現」 『日本語教育事典』 大修館書店
4. 佐治圭三（1982）「接続成分」 『日本語教育大事典』 大修館書店
5. 益岡隆志（1997）『複文』 くろしお出版
6. 寺村秀夫（1981）『日本語の文法（下）』 国立国語研究所
7. 森田良行（1988）『日本語の類意表現』 創拓社
8. 前田直子（1995）「バ、ト、ナラ、タラー仮定条件を表す形式一」 『日本語類義表現の文法（下）』くろしお出版
9. 中島悦子（1994）「日中条件表現の対照一『と』を中心として一」 『日本語学』
10. 大河内康憲（1967）「複句における分句の連接関係」 『中国語学』 176
11. 大河内康憲（1986）「中国語の文と句の連接」 『日本語学』 1986. 10
12. グループ・ジャマシイ（2001）『日本語文型辞典』くろしお出版
13. 徐一平他（2001）《中文版日语句型辞典》くろしお出版
14. 吕叔湘（1980）《现代汉语八百词》 商务印书馆
15. 刘月华等（1983）《实用现代汉语语法》 外语教育与研究出版社
16. 范晓（1998）《汉语的句子类型》 书海出版社
17. 林立（1987）《现代汉语复句研究概观》 朱一之 王正刚选编 《现代汉语语法研究的现状和回顾》 语文出版社
18. 邢福义（1985）《复句与关系词语》 黑龙江人民出版社
19. 赵恩芳 唐雪凝（1998）《现代汉语复句研究》 山东教育出版社

20. 社黄成稳(1990) 《复句》 人民教育出版社
21. 秦礼君(1989) 《汉日句法比较》 河南大学出版